

峰山町北部に位置する私たちのふるさと『元町区』は、緑あふれる閑静な住宅街を中心とした地区です。 周辺には、峰山小学校、赤坂工業団地、京都地方法務局峰山支局、赤坂今井墳丘墓などがあります。

しかし、区内に誇るべき特別な名所や旧跡などはなく、商店、コンビニ、自動販売機もない「ないない尽くし」の小さな区です。

このような『元町区』ですが、発足当時から 「小さくてもあたたかい、人に優しい、地域全体のまとまりが非常に良い」 そんな人情味あふれる地区であり、区民が協力しながら、様々な事業に積極的に取り組んでいます。

**誕生50周年**

『元町区』は平成29年(2017年)4月に、発足して50周年の記念すべき年を迎えます。

他の地区と同様に「少子高齢化」、「世帯数・人口の減少」等の加速度的な進行や、これに伴う様々な問題が顕在化するなど、『元町区』でも多くの課題があり、地域の状況は発足当時とは大きく変貌しました。

しかし、諸先輩方が育ててきた、よき伝統である区民同士の『絆の強さ』は変わることはありません。 これからも小さなお子さんからお年寄りまで “人と人の絆の強さ” を活力に変え、新たな『元町区』の創造をめざし、未来に向け前進します。



元町区全景



ふるさと  
わがまち  
わが地域

峰山町  
元町区

世帯数 78世帯  
人口 183人  
(H27.10.31現在)



**【事業など】**

毎年子供の日に巡行する子ども神輿は、元町区と1区の区民が協力し、手作りにより製作した立派なもので、子供と大人が協力しながら区内を練り歩いています。

また、福祉委員会を平成9年に町内ではいち早く立ち上げました。平成18年より住民交流の場として「元町区モーニングサロン」を毎月定例開催し、日曜日の朝のひと時を、お子さんから高齢者の方まで参加される貴重な憩いの場となっています。あわせて行う区内の安全点検・清掃活動などにより、安全・安心して暮らすことができるまちづくりを目指しています。リサイクル活動も峰山町のモデル地区として先行して取り組むなど、幅広く、工夫を凝らしながら様々な事業を積極的に展開しています。

地区の出身者が帰省するお盆には、区民と懐かしく交流できる「元町区納涼祭」や、子供も参加する「歳末餅つき大会」など、多数の区民が参加できる事業を行っています。

**【元町区の生い立ち】**

昭和27年に峰山町第1区に町営住宅が完成し、昭和44年までに81戸の町営住宅が建設されました。その後それまでの第1区から分離して、昭和44年に「住宅区」として新たに発足し、昭和55年に区の名が現在の『元町区』に変わりました。

このように全世帯の約4分の3以上が町営住宅である特徴ある地区としてスタートし、その後住宅の払い下げ事業などを経て現在に至っています。

『元町区』という名称は、「吉原城の足もとにある地区であるから」とか「地区として第1区の前になるから」など、その由来には諸説あります。

しかし、当時の役員や区民の皆さんが、新しい区として強い絆のもとで区を盛り上げていけるよう、そんな願いを込めて決められたようです。

区民の出身地は多岐にわたりますが、区としてのまとまりは非常に良くさまざまな事業に大勢の区民が参加し、手作りで創り上げてきたまち、『元町区』はそんなまちです。

正月恒例 どんど焼き風景



わっしょい!!子ども神輿の巡行



ヨイショ! 歳末餅つき大会



高齢者の皆さんには、毎年の高齢者親睦会(敬老会)開催のほか、年に2回(7月、11月)行う大型ごみ(可燃物、不燃物)の回収・持ち込み作業や冬季降雪時の屋根の雪下ろし作業など、多様なニーズに配慮し、きめ細やかに活動しています。

みんな真剣! 災害時要支援者避難訓練



元気いっぱい! 敬老会(H27年)



今回も満載! 大型ごみ回収

